

サン共同通信

2023年

Topics 注目トピック

補助金 事業再構築補助金

税制 医療費控除

融資 毎月の融資情報

メディア実績

1

月号

中小企業
大賞2022

JAPANESE AWARDS 2022



社員総会と
日本中小企業大賞2022のご報告



2022年度 社員総会の活動ご報告

弊社では昨年12月1日に第7期、社員総会を行いました。

第一部は東京ミッドタウン ホール&カンファレンス(東京都・港区)にて出席したメンバーで集合写真撮影から始まり、各拠点ごとの報告、プロジェクト別の発表を行いました。一昨年に続き、対面とオンラインで総勢100名を超える開催となりました。各拠点ごとに在籍しているスタッフの紹介もあり、当社に参画して間もない組織は緊張している場面もありましたが、終始和やかな雰囲気での会となりました。

総会終了後は、昨年オープンした六本木のバーD3で忘年会を兼ねた懇親会を行いました。社員表彰もあり、会場は大盛り上がり!拠点を越えた交流の会になりました。



ピックアップ1 発表セクション

代表挨拶

代表朝倉から一年の総括を行いました。
弊社は拠点が増加し、採用を強化していることもあり、既存社員に対して、半数を上回る新入社員が参画されています。新型コロナウイルスの影響下でオンライン上で仕事進行していく中、今回開催された総会は、リアルで交流が図れる場として、拠点を越境したシナジーの強化を目的としている旨の話がありました。



拠点長発表

拠点の得意分野や受けている案件、メンバーの紹介があり、拠点長の特色が色濃くでた発表でした。
各々の発表の最後では、2022年の実績の報告、2023年に向けての取り組みや目標を会場とオンライン参加の皆さんにお伝えいただきました。



プロジェクト発表

人事、融資、営業、研修、IT、社会保険、資産税、補助金、保険提案、不動産、デジタルマーケティング、D3の全12チームのプロジェクト報告を行いました。



人事

人事では、離職率や、女性活躍の支援制度、有給について発表がありました。

一般的な企業と比較して、離職率が低いことが挙げられました。メンター制度、研修制度にも力を入れており、女性のライフステージに合わせた働き方や、有休未消化率ゼロを目指し、長期的に働ける環境があることが、寄与していると考えられます。



IT

ITチームは、社内の研修環境や、セキュリティの強化、社外のIT・DXの相談役サービス「DX顧問・コンサルティング」や、IT導入補助金の支援などを通して社内外のデジタル技術を活用した、業務改善の取り組みを発表しました。

サン共同グループの、DX化の根幹を支え、社外にもそのノウハウを提供しているチームです。



融資

融資チームからは、融資の成果について発表がありました。

創業融資の金利は以前より低くなっており、調達コストが低下し、最近の平均決定金利は約1.6%、35歳以下や女性であれば、さらに-0.3%と低くなります。

お客様のニーズに応えた新たなサービスを考案中とのことでした。



研修

研修チームでは、社内研修を行う理由や種類、2022年に行った研修について発表がありました。

職位など求められる役割に応じた研修や、得意分野を生かした情報共有など、サン共同では、ある時は受講者として、ある時は教える側として研修に関わり、ともに研鑽していく環境があります。



デジタルマーケティング

新設のデジタルマーケティングチームは、サイトのリニューアルや、社内で行なっているマーケティング施策、社外に向けた企業向けのWEB集客支援サービスについて発表しました。サン共同の集客を支援し、社外にも集客のノウハウを提供しているチームです。



アセットマネジメント

新設のアセットマネジメントでは、税務業務から派生した不動産案件を受けるチームです。

事務所や店舗をお探しの方や、節税や資産運用などの目的で不動産投資を希望される方に向けて、物件購入など不動産事業を提供するという発表がありました。

ピックアップ2 表彰セクション

職場貢献賞

明るく楽しい職場を作り、困った人を助け、売上とは別の形で会社に貢献している人

安川さん(青山) 井坂さん(青山) 山本さん(青山) 舟橋さん(青山) 篠原さん(青山) 井上さん(青山)
江花さん(八王子) 川合さん(八王子) 小林さん(八王子) 守田さん(八王子) 相樂さん(板橋)
小林さん(板橋) 山村さん(板橋) 大屋さん(板橋) 河合さん(日本橋) 望月さん(横浜) 森田さん(横浜)
北川さん(西宮) 篠本さん(西宮) 田中さん(西宮) 松下さん(西宮) 松井さん(西宮) 齋藤さん(西宮)
坂本さん(博多) 玉那覇さん(沖縄) 仲村さん(沖縄) 坂本さん(博多) 黒川さん(青山)

コスト削減賞

コスト削減の結果を出している人、コスト削減に挑戦している人

井坂さん(青山) 篠原さん(青山) 大塚さん(青山) 川合さん(八王子) 柳沼さん(八王子) 相樂さん(板橋)
山村さん(板橋) 大屋さん(板橋) 大森さん(北千住) 北川さん(西宮) 篠本さん(西宮) 田中さん(西宮)
松下さん(西宮) 松下さん(沖縄) 西畑さん(デジマケ)

アイデア賞

既存の手法の固定概念にとらわれずに、新しい手法に挑戦している人

篠原さん(青山) 大塚さん(青山) 井上さん(青山) 佐藤さん(青山) 江花さん(八王子) 相樂さん(板橋)
中島さん(板橋) 山村さん(板橋) 大屋さん(板橋) 渋谷さん(北千住) 北川さん(西宮) 篠本さん(西宮)
田中さん(西宮) 菊池さん(西宮) 竹田さん(博多) 玉那覇さん(沖縄) 平川さん(沖縄)

チャレンジ賞

失敗を恐れず前向きに学び、常にチャレンジし続ける人

安川さん(青山) 井坂さん(青山) 松橋さん(青山) 大塚さん(青山) 井上さん(青山) 江花さん(八王子)
川合さん(八王子) 小林さん(八王子) 柳沼さん(八王子) 中島さん(板橋) 山村さん(板橋) 大屋さん(板橋)
奥智さん(板橋) 荒川さん(北千住) 北川さん(西宮) 篠本さん(西宮) 田中さん(西宮) 山上さん(西宮)
齋藤さん(西宮) 竹田さん(博多) 平川さん(沖縄) 仲村さん(沖縄)



日本中小企業大賞 2022



国内最大級の中小企業の祭典 「日本中小企業大賞2022」にて 働き方改革賞 最優秀賞に選ばれました！

2022年12月15日(木)に、一般財団法人中小企業からニッポンを元気にプロジェクトが主催する中小企業や社員の創意工夫や挑戦にスポットライトを当てる国内最大級の中小企業の祭典「日本中小企業大賞2022」にて、サン共同税理士法人が「働き方改革 最優秀賞」に選ばれました！

サン共同税理士法人が最優秀賞を受賞した理由は以下の通りです。

“税理士法との関係でリモートワークがしづらいという税理士業界独特の業務慣行を改善するために社内研修共有システムを自社開発。DXのためのDXではなく、働きやすい職場を創るためのDXで、残業時間を削減。繁忙期でも平均残業1時間という明らかな成果を出し、従業員の半数はリモートワークにも関わらず、DXにより生産性も上がり、一人当たりの売上は業界平均の倍。業界のDX化を先導した。”*1 として評価されました。

【働き方改革賞】とは、働き方改革をただの労働時間短縮と捉えず、社員の生きる喜びを充実させることを優先させ、自発的成長ももたらすような仕組みを時短とともに生み出した企業を表彰するもの。*2

*1,2一般財団法人中小企業から日本を元気にプロジェクトプレスリリースより抜粋

サン共同税理士法人のDXへの取り組み

ITを利用した効率化

従来の会計作業・税務作業は紙ベースの情報を扱うことを前提に、大量のプロセスを手作業で行う形で組み立てられていました。私たちは日々の業務を効率化し、生産性を高めるために業務のIT化に積極的に取り組んでいます。徹底したペーパーレス化によって定型作業の自動化や本格的なオンライン業務環境の整備を可能にしました。無駄を省き、本質的な価値の提供に集中するためのIT環境を構築しました。

会計税業務のIT化



自社開発RPAで業務を自動化

弊社では、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)により単純基本作業はロボットが行っています。入力作業など、ヒューマンエラーが発生し易い業務を徹底的に自動化し他の業務に集中できる環境を構築しました。

自動化を進める上での大事なポイント



サーバー環境の仮想化

ネット環境さえあれば、どこでも同じ状況で仕事ができ、急な在宅勤務にも対応できるようになりました。サーバー環境の仮想化を実現することで、紛失や故障時のデータ消失のリスクを大幅に減らすことができました。

オフィスのサーバー環境を仮想化



効率化に向けた導入システム

社内グループウェアとして自社開発のクラウドシステムAMS(Activity Management System)を導入しています。Web調書の作成やレビューといった会計業務の中心となる機能と、スケジュール管理・顧客情報・業績評価などが連動し、日々の業務を効率よく進められるようにしました。



サン共同税理士法人の働き方への取り組み

サン共同税理士法人では、誰もが成長できる要因として、先に挙げた業務を効率化するための「IT環境」、大企業並みの「育成環境」、社員それぞれのステージにあった快適で健康に働ける「労働環境」を整えています。

育成環境

ある時は受講者、ある時は講師として参加する双方発信型の育成自社システムを活用し、税務や会計の知識を学ぶ「テクニカル研修」、職位ごとに必要なスキルを身につけて行く「昇格時研修」、基本の知識や新しい技術のアップデートを行う「ビジネススキル研修」など、さまざまな研修を行っています。研修は社内システムの動画機能で見返すことができるので、わからないことは何度も復習できます。

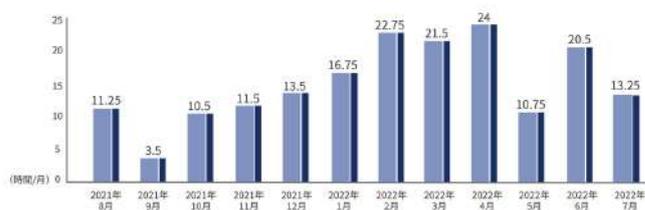
あるときは受講者に、あるときは講師に



労働環境

「テレワーク勤務」「フレックス勤務」「時短勤務」「週4勤務」が行える環境で、子育てをしている女性や、受験生を応援する体制が整っています。年間を通した業務スケジュールを余裕を持って設定することで「残業ゼロ・有給未消化ゼロ・離職率ゼロ」の3つのゼロを目標に、働きやすい環境整備に努めています。

正社員の平均残業時間



平均残業
1日1時間
以内!

繁忙期でも平均残業が1日1時間以内!

年間平均残業時間	繁忙期(12月~3月)	繁忙期(5月~6月)	閑散期(7月~11月)
14.75 時間/月	18.5 時間/月	15.5 時間/月	9.25 時間/月

閑散期は
ほぼ定時退社

その他にも27の福利厚生や、産休制度と実態など働き方についてをサン共同の採用サイトに掲載しておりますのでご覧ください。採用サイトはこちら ▶<https://tax-startup.jp/recruit/>

日本中小企業大賞 2



日本中小企業大賞2022 JANIS AWARDS AWARD 2022



中小企業大賞 2022



事業再構築補助金

2021年3月から第1回公募が開始された事業再構築補助金につきまして、制度延長が決定しました。既存制度の追加公募である第9回公募、新制度の第10回～12回公募の概要を解説致します。

1. 公募スケジュール

<既存制度>

第9回公募

公募開始:2023年1月中下旬予定

応募締切:2023年3月中下旬予定

採択発表:調整中

第8回公募の採択発表は第9回公募の応募締切り後を予定しており、第8回公募で申請される場合、第9回公募での申請はできませんので、ご注意ください。

<新制度>

第10回公募

公募開始:2023年3月下旬予定

2023年度中に計3回の公募を実施予定

2. 事業再構築補助金の改正内容

新制度の事業再構築補助金の補助率・補助上限の概要は下記の通りです。

①物価高騰対策・回復再生応援枠の創設

新型コロナの影響に加え、物価高騰等により現況が厳しい事業者等の事業再構築を支援するための特別枠が創設されました。物価高騰対策・回復再生応援枠は特別枠であり、補助率3/4と補助率が高い枠ですので、要件を満たすことができれば積極的に狙っていききたい枠となります。

②産業構造転換枠の創設

国内市場の縮小等の産業構造の変化等により、事業再構築が強く求められる業種・業態の事業者を支援するために補助率が引き上げられています。

③成長枠(旧通常枠)の創設

成長分野に向けた大胆な事業再構築に取り組む事業者に向け、売上減少要件を撤廃した成長枠が創設されました。旧通常枠では売上減少要件を満たすことができなかった事業者も成長枠で申請できる可能性があります。

④サプライチェーン強靱化枠の創設

海外で製造する部品等の国内回帰を進め、国内サプライチェーンの強靱化及び地域産業の活性化に取り組む事業者製造業を対象として「サプライチェーン強靱化枠」を新設されました。

サプライチェーン強靱化枠での補助上限額は5億円と過去最大の補助上限額です。

類型	最低賃金枠	物価高騰対策・回復再生応援枠	産業構造転換枠	成長枠	グリーン成長枠		サプライチェーン強靱化枠
					エントリー	スタンダード	
対象	最低賃金引上げの影響を受け、その原資の確保が困難な事業者	業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者、原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者	国内市場縮小等の構造的な課題に直面している業種・業態の事業者	成長分野への大胆な事業再構築に取り組む事業者	研究開発・技術開発又は人材育成を行いながら、グリーン成長戦略「実行計画」14分野の課題の解決に資する取組を行う事業者		海外で製造する部品等の国内回帰を進め、国内サプライチェーンの強靱化及び地域産業の活性化に資する取組を行う事業者
補助上限	最大 1,500万円	最大 3,000万円	最大 7,000万円	最大 7,000万円	最大 8,000万円 (中堅1億円)	1億円 (中堅1.5億円)	最大 5億円
補助率	3/4	2/3 (一部3/4)	2/3	1/2 (大規模賃上げ達成で2/3へ引上げ)		1/2	

業況が厳しい事業者向け



賃上げ等へのインセンティブ

- 大規模賃金引上：上限3,000万円上乘せ
- 中小企業等からの卒業：上限を2倍に引上げ

医療費控除

1. 医療費控除とは

医療費控除とは、自分及び生計を一にする配偶者や親族に係る医療費が1月～12月までの1年間で10万円を超えた場合(※)に、医療費控除の確定申告をすることで、所得税を減らすことができる制度です。給与所得のみの方で年末調整されている場合には確定申告することで所得税の還付を受けることができます。

(※)総所得が200万円未満の人については、10万円以内でも、所得金額の5%を超えた金額が医療費控除の対象となります。

2. 医療費控除の対象となる医療費

医療費控除の対象となる医療費は一般的に以下のようなものです。



治療等に必要な
医療費・入院費用



治療に必要な
医薬品代



出産費用



通院のための交通費

タクシー代は公共交通機関で
移動が困難な場合のみ対象

病院に通院するための電車代やバス代も対象になりますが領収書はできませんので、金額をメモしておき明細に記載します。自分の医療費だけでなく生計を一にする配偶者や親族の医療費も控除できますが、この場合において、その親族は扶養親族である必要はありません。家族の医療費は、所得税率が所得の大きい人ほど税率が高くなる累進税率である関係から、所得の最も大きい人から控除するのが一番節税になります。

また、後払いの医療費は、実際に支払った年の医療費控除の対象となります。例えば、治療を受けたのが今年の12月であったとしても治療費を支払ったのが翌年1月である場合には今年の医療費控除の対象とはならず翌年の医療費控除の対象となります。

3. 医療費控除の対象とならないもの

医療費控除の対象とならないものは一般的に以下のようなものです。



医療費控除の対象となる医療費は治療目的のものに限ります。美容目的のもの、健康を増進するためのビタミン剤やサプリメント、治療目的以外の眼鏡やコンタクトレンズは、原則として医療費控除の対象になりません。

人間ドックや健康診断の費用も対象になりませんが、健康診断等の結果、病気が発見され、引き続き治療を受けた場合にはその人間ドックや健康診断の費用も医療費控除の対象となります。

新型コロナウイルス関連ですと、医師の判断により受けたPCR検査費用は医療費控除の対象ですが、自己の判断で受けたPCR検査費用は対象外です(※)

(※)この場合も、人間ドックや健康診断と同様にその検査により陽性であることが判明し、引き続き治療を行った場合のその検査費用は対象になります。

4. 所得から控除される金額

1年間の医療費の合計が10万円(所得が200万円未満の人については、所得金額の5%)を超えた場合に医療費控除ができます。

医療費控除の計算式は以下の通りです。

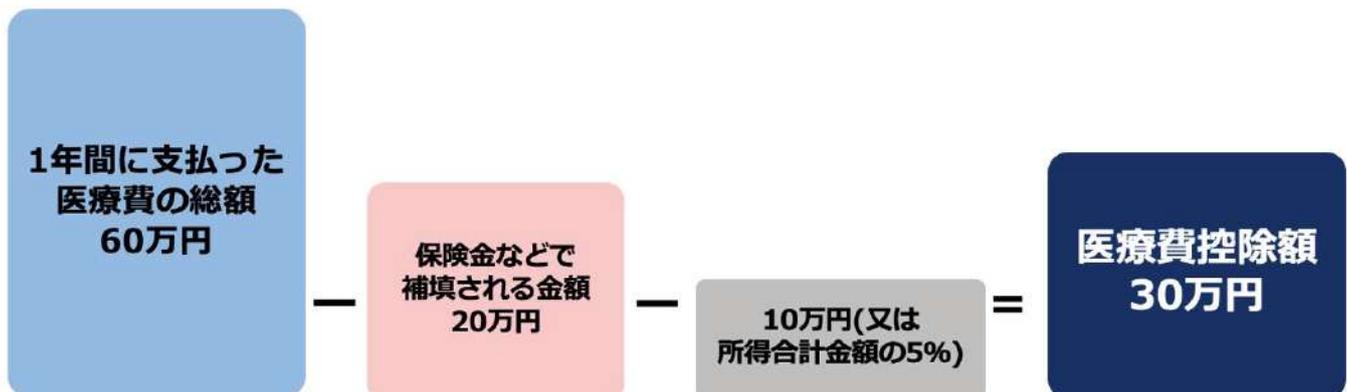
医療費控除額(上限200万円)

1年間の医療費の合計 - 保険金等の補てん金額 - 10万円(※)

(※)総所得金額200万円未満の人は総所得金額の5%

医療費控除の上限は200万円です。この場合において、保険金、入院費給付金、高額療養費、出産育児一時金などで医療費の補てんを受けた場合には、その金額は医療費から差し引きます。

なお、医療費控除は医療費が戻ってくる制度ではありません。納税すべき所得税、源泉徴収された所得税が減税される制度ですので所得税が課されていない方に還付されることはありません。



5. 医療費控除を受ける手続き

医療費控除を受けるためには、年末調整では処理できないものであるため、確定申告をする必要があります。

医療費控除を受けるためには、治療費や医薬品代の領収証を揃え、医療費控除の明細書を作成のうえ確定申告書を税務署に提出することが必要です。

なお、過去、医療費控除をしていなかった人について、毎年の所得税の精算を年末調整で終わらせているサラリーマンなど、確定申告をしていない人は、医療費を支払った年の翌年1月1日から5年以内であれば過去の分でも確定申告のうえ、還付を受けることができます。



小林 信仁

毎月の融資情報

融資借換(融資一本化)制度利用によるキャッシュフロー改善

複数の融資の返済が重なり月々のキャッシュフローが悪化してしまうことを防ぐために、借換制度を活用することが効果的です。

複数の融資を一本化して返済額を抑えることで、キャッシュフローの改善・健全な財務基盤の構築を図ることが可能になります。

下記の前提条件を例とした場合、以下のような改善が見込まれます。

【前提条件】

●融資残高:300万円×3本(融資A・B・C)。合計残高900万円

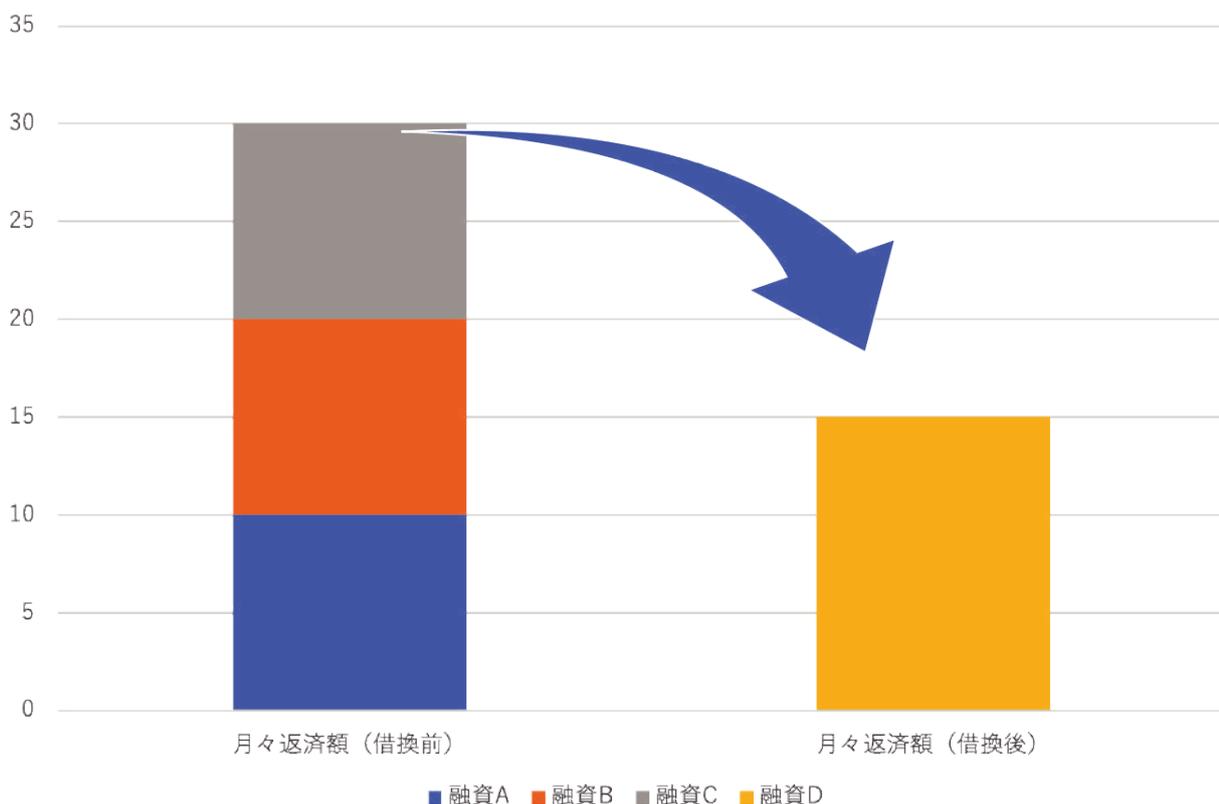
月々の返済額:各10万円。合計返済額30万円



上記3本の融資を**特別借換制度で一本にまとめ、借入期間を5年に設定した場合**、以下のように返済額が圧縮されます。

○融資残高:900万円(融資A・B・Cの残高を一本化)

月々の返済額:15万円(借換前の50%)



返済条件のリスケジュール(条件変更)を行わないので、金融機関からの信用格付を低下させることなくキャッシュフローの改善を図る事が可能です。公庫・民間金融機関でご利用いただける借換制度はそれぞれ諸条件が異なりますので各制度をご紹介します。

民間金融機関(信用保証協会付き融資)の借換制度

融資保証制度名	融資限度額	融資期間	基準金利	融資申込要件
借換融資	既往の保証付融資残高および事業計画実施に必要な範囲内	最大10年間	金融機関所定の金利	<ul style="list-style-type: none"> 保証協会付融資を利用していること 事業計画を策定し、資金繰りの安定化や経営改善に取り組むこと

日本政策金融公庫の借換制度

融資保証制度名	融資限度額	融資期間	基準金利	融資申込要件
新型コロナウイルス感染症特別貸付(コロナ融資)	8,000万円	最大20年間	1.13~2.10%	コロナの影響により、直近月の売上高が1~4年前の同月売上と比較して5%以上減少していること
セーフティネット貸付	4,800万円	最大15年間	1.98~2.95%	社会的、環境的要因により一時的に業況が悪化していること等 (※定量的な売上減少要件無し)

なお、公庫の融資は公庫で定めている借換制度、保証協会付の融資は保証協会で定めている借換制度で各融資を一本化することが可能です。そのため、公庫・民間金融機関の融資を一つの借換制度で一本化することはできませんのでご注意ください。

日本政策金融公庫 変更情報

	前月時点	2022年12月1日時点
創業融資の基準金利	2.30～3.35%	2.28～3.25%
コロナ融資の申込期限 (※3年間の利子補給無し)	2023年3月31日まで	変更無し

豆知識コラム⑧:リスケジュール(条件変更)とは?

- リスケジュール(条件変更)とは、既存の融資の返済条件について金融機関と交渉することで、元金の返済停止や返済期間の延長などを行ってもらうことです。
- リスケジュールの最大のデメリットとしては、金融機関内での信用格付が低下してしまうのでリスケジュール中は追加融資の相談が難しくなってしまう点が挙げられます。従いまして金融機関へリスケジュールの相談を行う際には慎重な検討が求められます。

代表朝倉の
twitterアカウントのご紹介代表朝倉のつぶやき  @asakuraayumu

twitterやっています!質問箱も受け付けているので
税務や経営のことなど知識を深めたい方は、ぜひ
フォローしてください!



11月11日(金)に「オフィス見学会&DX勉強会」を開催しました



今年3回目の「オフィス見学会&DX勉強会」を開催しました。今回も20名以上の方にお集まりいただき、満員開催することができました。弊社が行っているDX化の取り組みを紹介しております。

▶<https://tax-startup.jp/rpa-consulting/kengaku/>

『FIVE STAR MAGAZINE』2022年11月号に
10月4日(火)の「オフィス見学会&DX勉強会」の様子が掲載されました



『FIVE STAR MAGAZINE』2022年11月号に10月4日(火)に開催された「会計事務所DX推進・成功事例セミナー」のレポートが掲載されました。在宅パートスタッフの活用術についてレポートしていただきました。

▶https://tax-startup.jp/rpa-consulting/wp-content/themes/understrap/pdf/20221101_fivestarmagazine.pdf

「経営者から学ぶM&Aの真実」に沖縄オフィス拠点長の袖野が登場しました



公益社団法人宜野湾青年会議所様が主催するセミナーで、沖縄オフィス拠点長の袖野がシンバホールディングス株式会社の安里繁信様と対談いたしました。

出版物

- ・『詳解連結納税Q&A』(清文社・共著)
- ・『外国税額控除／外国子会社配当益金不算入制度と申告書作成の実務等』(清文社・共著)
- ・『融資を引き出す創業計画書づくり方・活かし方』(あさ出版・共著)
- ・『中小企業のDXは会計事務所に頼め』(金融ブックス・共著)
- ・『すごい社長は知っている 会社の価値の高め方』(株式会社アックスコンサルティング出版局・共著) など多数

記事

- ・(2022年10月号)月刊実務経営ニュース『Business Report 会計事務所DX推進・成功事例セミナー』
- ・(2022年9月号)月刊実務経営ニュース『事務所運営のDX化推進で会計業界全体の浮揚を目指すサン共同税理士法人』
- ・(2022年7月号)月刊実務経営ニュース
『DXの推進で業界の活性化を目指す辻・本郷ITコンサルティングの新サービス「NEXTA」』
- ・(2022年6月16日号)新潮社『週刊新潮』
- ・(2022年6月1日)プロパートナーonline特別編集『士業業界ランキング500(2022年完全版)』
- ・(2022年1月号)月刊プロパートナー『～DX士業が語り合う!新たな士業像とは～2022年、士業の大改革』
- ・(2020年8月号)税務広報『テレワークガイドラインの作り方』
- ・(2020年6月号)月刊実務経営ニュース『会計事務所のテレワーク勤務勉強会』
- ・(2020年5月号)FIVE STAR MAGAZINE『テレワーク運用ガイドライン』
- ・(2020年2月1日号)税界タイムス第73号『第4回サン共同税理士法人オフィス見学会&RPA体験見学会』 など多数

セミナー

- ・(2022年10月4日)辻・本郷ITコンサルティング株式会社様・サン共同税理士法人共催『オフィス見学会&DX勉強会』
- ・(2022年9月13日)辻・本郷ITコンサルティング株式会社様・サン共同税理士法人共催『オフィス見学会&DX勉強会』
- ・(2022年9月6日)株式会社実務経営サービス様主催『会計事務所DX推進・成功事例セミナー』
- ・(2022年4月8日)一般社団法人中小企業税務経営研究協会主催『DX導入事例』
- ・(2021年12月2日)株式会社実務経営サービス主催会計事務所サミット『会計事務所サミット』
- ・(2020年6月16日)会計事務所RPA研究会(株)・イプシロン共同セミナー主催『初めてのRPA導入セミナー』
- ・(2021年6月10日)辻・本郷税理士法人主催『手入力禁止から経理業務の自動化の提案・導入へ』
- ・(2020年2月29日)株式会社オーシャン主催『人手不足解消・売上増加のためのRPAと在宅の活用』
- ・(2020年2月10日)株式会社実務経営サービス主催『税務業務専門ロボット徹底検証セミナー』
- ・(2019年12月12日)株式会社会計事務所RPA研究会『会計事務所RPAサミット』
- ・(2019年10月7日)関東甲信越税理士会 浦和支部 主催セミナー『会計業界におけるRPAとAIの動向』
- ・(2019年9月11日)名南経営コンサルティング主催セミナー『スタッフ1人にロボット1台の事務所へ』
- ・(2019年9月1日・4日)船井総合研究所主催セミナー『担当者2名体制から「担当者1名+ロボット1台体制」へ』
- ・(2019年7月12日)実務経営サービス主催会計事務所サミット
『ロボットが申告する時代到来! 単純作業がいよいよ消滅します』
- ・(2019年6月19日)一般社団法人中小企業税務経営研究協会主催セミナー『会計事務所M&A実体験談セミナー』 など多数

メディア

- ・(2022年10月4日)会計求人プラス『成功者インタビュー』
- ・(2022年9月26日)NEXTA『会計事務所DX推進・成功事例セミナー』
- ・(2022年7月29日)実務経営Channel『【取材PV】会計業界DX化の先駆者!サン共同税理士法人(9月号)』
- ・(2022年6月1日)実務経営Channel
『【取材PV】会計事務所の「学び場」 NEXTA(ネクスタ)／辻・本郷ITコンサルティング(7月号)』
- ・(2021年2月13日)週刊ダイヤモンド「税理士の大再編時代が到来」
- ・(2020年6月27日号)週刊現代『横行する「コロナのカネ」を不正受給する人たち』
- ・(2020年5月1日)テレビ東京WBS『持続化給付金対応』 など多数



拠点一覧

青山オフィス

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館15階

板橋オフィス

〒173-0013

東京都板橋区氷川町26-5 栄ビル1F

北千住オフィス

〒120-0034

東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター10階

八王子オフィス

〒192-0081

東京都八王子市横山町9-11 小泉ビル4階

日本橋オフィス

〒103-0023

東京都中央区日本橋本町2-6-1 日本橋本町プラザビル2F

五反田オフィス

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ306

横浜オフィス

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-1 みなとみらいセンタービル19階

西宮オフィス

〒663-8112

兵庫県西宮市甲子園口北町23-10

沖縄オフィス

〒901-2225

沖縄県宜野湾市宇大謝名215 レキオスクエア 2-D

福岡オフィス

〒812-0011

福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目4-25 アクロスキューブ博多駅前4階



ホームページ <https://san-kyodo-tax.jp/>



代表朝倉のつぶやき  @asakuraayumu

twitterやっています! 質問箱も受け付けているので
税務や経営のことなど知識を深めたい方は、ぜひ
フォローしてください!